

3 安全安心の社会づくりに尽力

自衛官としての経歴を生かし、防災、防犯、防衛等の取り組みに参加しました。

- 1月 防衛議員連盟研修 in 目達原駐屯地(佐賀県)
- 3月 熊本市自衛隊入隊入校激励会に参加
- 3月 自民党熊本市議団として対馬所在の陸海空自衛隊を研修
- 3月 自衛官の家族支援調印式に参加
- 5月 憲法改正を呼びかける街頭運動に参加 ⑩
- 6月 自衛官の家族支援実動訓練に自衛隊家族会として参加 ⑪
- 6月 定例議会においてJアラート訓練や平和教育の在り方について質問 ⑫
- 6月 PAC3 展開訓練を研修 ⑬
- 8月 不発弾処理が行われた現場付近の状況を確認 ⑭
- 10月 校区自治協議会による総合防災訓練を企画 ⑮



4 国内外に広く交流の場を求めて

県外との交流や国際行事に参加し、広い視野から市政を考え活動に生かしました。

- 7月 内閣府計画の一般訪問団として北方領土を訪問 ⑯ ⑰
- 8月 日本・台湾交流サミット熊本大会に参加し音楽演奏で貢献 ⑱
- 10月 ドイツ・ハイデルベルク市との友好記念行事に参加 ⑲
- 11月 全国政令指定都市自民党総会 in 熊本市に参加



5 明日を担う若者との交流を深める

インターンシップの枠組みを利用して大学生と直接意見を交わし、同時に活動の場を提供しました。

- 8月 インターン生による湧々座研修 ⑳
- 12月 大学生による政策提案会を企画 ㉑
- 12月 大学生が企画する憲法勉強会に参加 ㉒



光永くにやす通信

Vol.6

新年明けましておめでとうございます。

平素より光永くにやすの様々な活動にご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。復興元年と呼ばれる一年間の成果を振り返りご報告致します。



- 1 あらゆる機会を通じて熊本市の復旧復興に尽力
- 2 地域活動を通して市民の声を聞く
- 3 安全安心の社会づくりに尽力
- 4 国内外に広く交流の場を求めて
- 5 明日を担う若者との交流を深める

平成30年(2018年)1月12日 第6号

1 あらゆる機会を通じて熊本市の復旧復興に尽力

復興について国や市に具体的な陳情を行うとともに、現場に足を運んで復旧のお手伝いをしました。

- 1月 自民党市議団として市長に陳情
- 3月 復興特別委員会において地域防災計画の内容について質問 ①
- 3月 予算決算委員会において観光戦略を踏まえた熊本城復旧工事の在り方について質問
- 5月 益城町町長を激励 ②
- 7月 財務省、国交省、経産省、厚労省への陳情活動
- 12月 地域を支える無人の神社の復旧活動をお手伝い ③



2 地域活動を通して市民の声を聞く

様々な地域活動に参加をして活性化のお手伝いをしながら市政に対するいろいろなご意見をうかがいました。

- 3回/月 登校する子どもたちを見守る交通安全活動 ④
- 1回/月 校区タイヤ公園清掃活動
- 1回/月 自衛隊曹友会と一緒に上江津湖清掃活動 ⑤
- 1月 雨の中「どんどこ」をお手伝い ⑥
- 6月 校区グランドゴルフ大会 ⑦
- 10月 消防音楽隊と一緒に三団体合同演奏会に参加 ⑧
- 11月 校区ウォークラリー
- 12月 下江津公園の花壇整備活動 ⑨



濟心光記

「夢に向かって橋を架ける」

熊本にとっては「復興元年」と位置付けられた昨年ですが、同時に世界情勢は大きく揺れ動いた一年でもありました。東西冷戦の最後のにらみ合いが、朝鮮半島においていまだに続いており、その緊張はかつて無いほどに高まっています。間近に存在する日本は、その動向から片時も目を背けることはできません。政治と外交に関わる全ての人の知恵が試されていると言えるでしょう。

私は「政治とは何か」と問われたら、「現実を踏まえ、彼岸の夢に向かって橋を架けることだ」と答えるようにしています。夢を語らず現実論に終始するのは論外ですが、向こう岸にある「夢」ばかりを語り、「どのように橋を架けるか」を論じないというもまた、政治に関わる者が取るべき態度ではないと考えているからです。「平和的な解決を」とただ祈るだけでは、平和という夢を実現することはできません。起ころうするシナリオにしっかりと備え、「無謀な行動が絶対に得策ではない」と相手に知らしめ、封じ込めていくことが大切だろうと思います。国家間の政治、経済、軍事、あらゆる分野の連携と総合力が問われています。昨年一年間の活動を通して、「例え国の問題であっても地域単位でできることがたくさんあるのではないか」と感じています。少なくとも子どもたちに安全で安心な未来を託せるように、大人がいまこそ頑張らなければならないと思います。



熊本市議会議員

光永くにやす 事務所

〒862-0911 熊本市東区健軍1丁目19-26

事務所電話 **080-5255-4071**
Fax. **096-367-1801**

ホームページもあわせてご覧ください。
<http://k-mitsunaga.net/>

